

# 北九州エコタウン事業と今後の展開

北九州市  
環境モデル都市推進室  
花田 末広

## 北九州市の公害克服



1960年代



現在



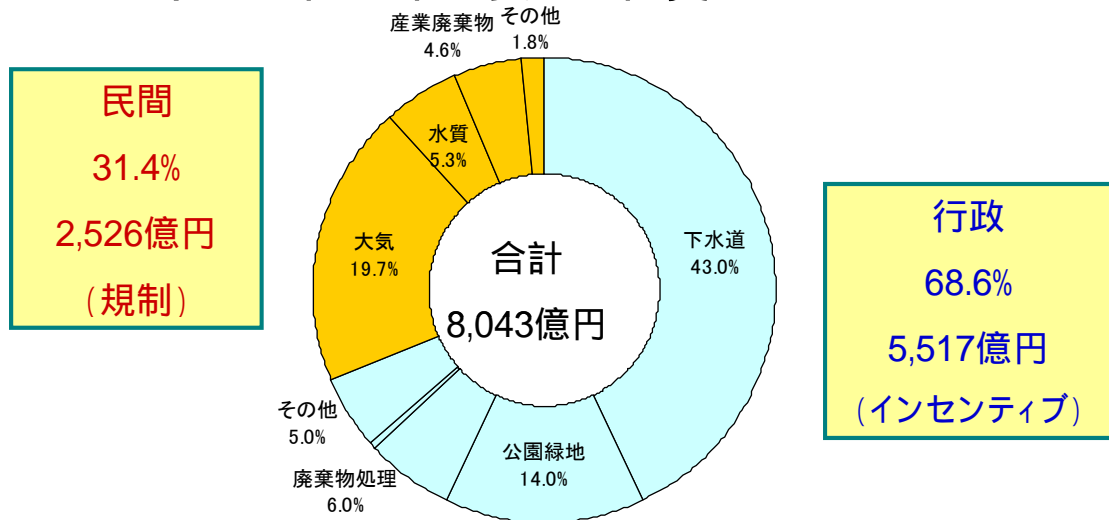
# 北九州市における公害克服の要因

市民ムーブメントの高まり

企業の社会的責任の認識 (自治体の関与)

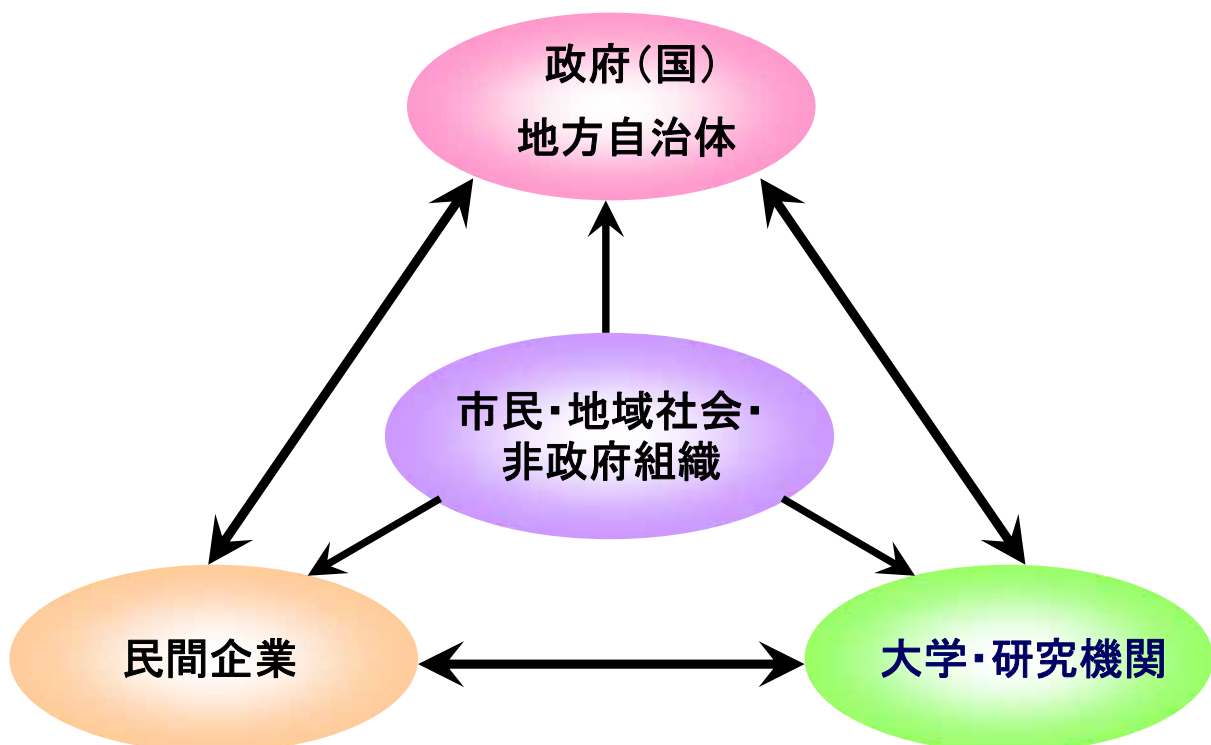
産学官民一体の取り組み (環境技術の開発・導入)

## ◆北九州市の公害対策に要した経費(1972年～1991年)

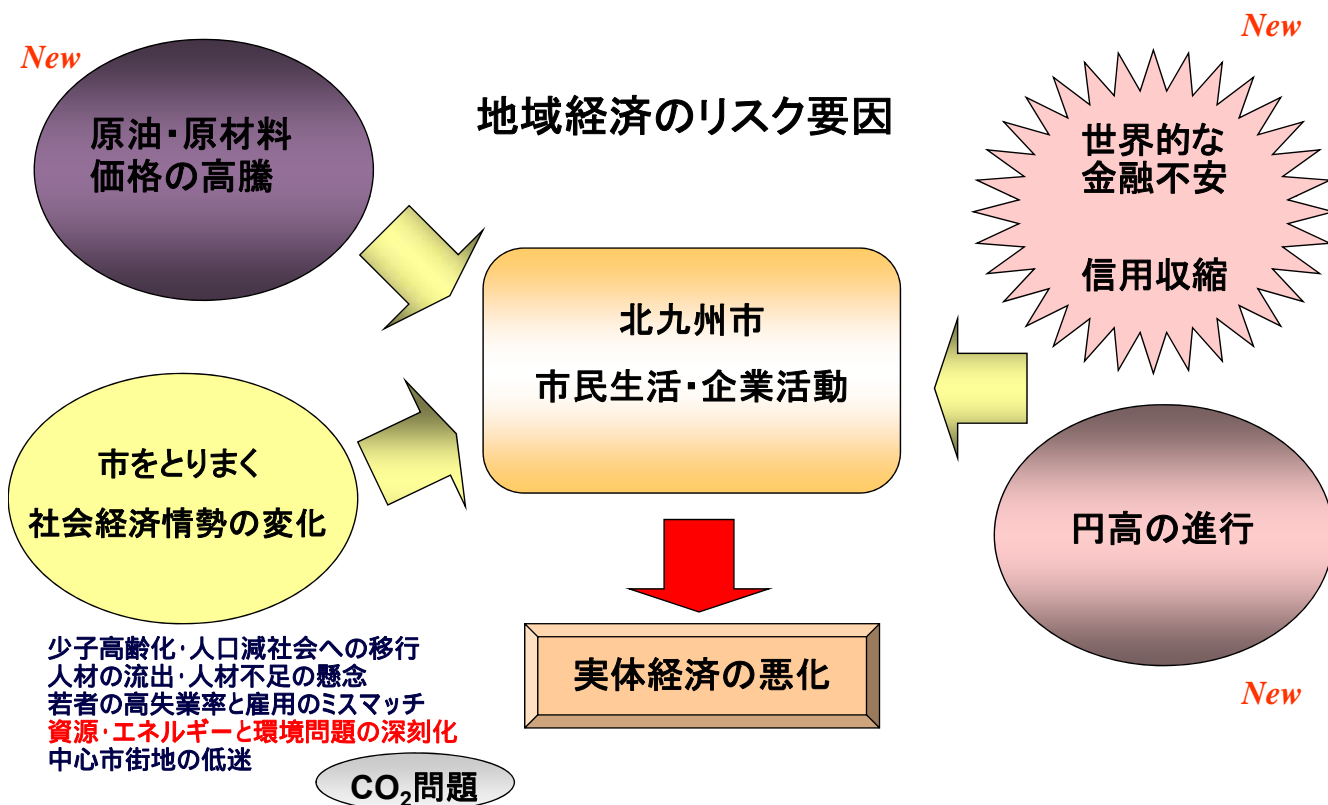


## 公害克服のための北九州方式

(利害関係者のパートナーシップによるイニシアティブ)



# 北九州市経済をとりまく環境



## 北九州市産業雇用戦略 2008

— 戦略 付加価値の高い製品・サービスを創り出すものづくり産業の振興

— 戦略Ⅰ-1 産業を支える知的基盤の充実と成長産業の育成

— 戦略Ⅰ-2 戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積

— 戦略Ⅰ-3 ものづくりを支える地域企業の競争力強化

— 戦略 豊かな生活とにぎわいを生み出す商業・サービス産業の振興

— 戦略Ⅱ-1 地域の個性を生かした商業振興

— 戦略Ⅱ-2 市民が豊かさを感じる生活関連産業の振興

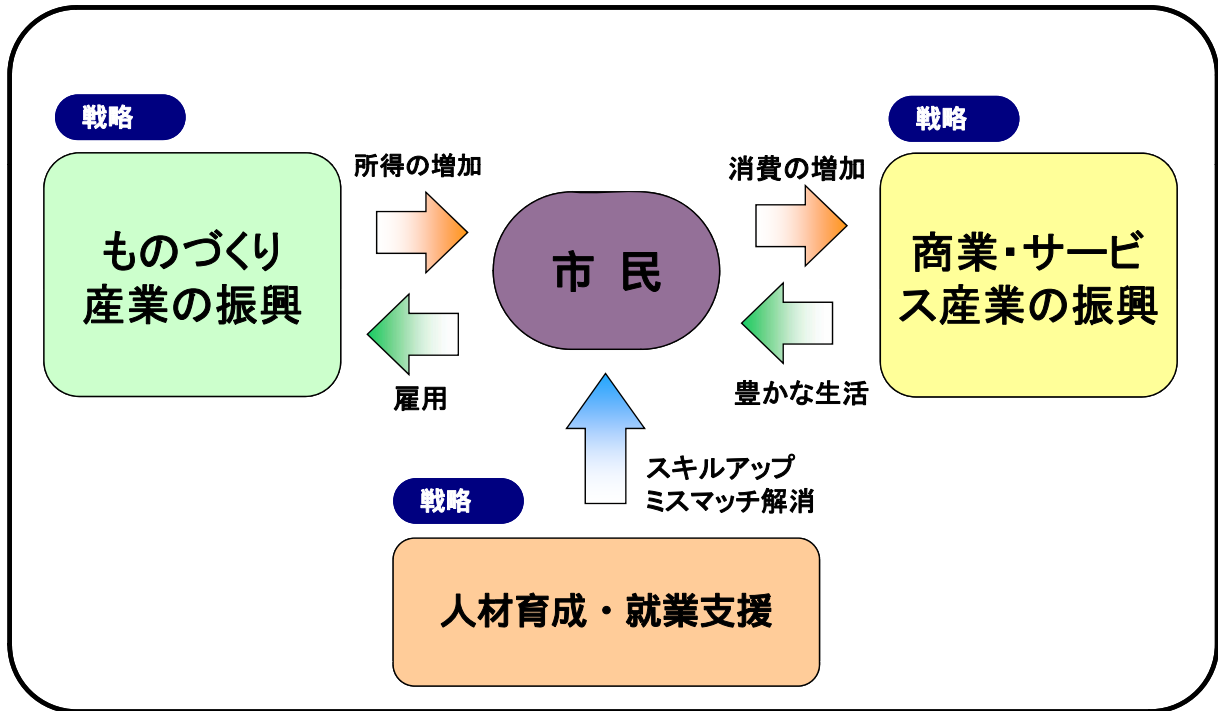
— 戦略Ⅱ-3 まちのにぎわいを生み出す集客産業の振興

— 戦略 多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進

— 戦略Ⅲ-1 将来を担う多様な人材の育成と確保

— 戦略Ⅲ-2 若者・女性・中高年齢者等の就業支援

# 3つの戦略の相互関連



## 北九州市の環境産業振興の戦略

基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまでの総合的展開

### I 教育・基礎研究

- 環境政策理念の確立
- 基礎研究、人材育成
- 産学連携拠点

#### 北九州学術研究都市

- 大学
  - ・北九州市立大学 国際環境工学部  
大学院国際環境工学研究科
  - ・九州工業大学  
大学院生命体工学研究科
  - ・早稲田大学  
大学院情報生産システム研究科
  - ・福岡大学大学院工学研究科
  - ・清華大学コンピュータ科学技術学部  
北九州研究室
- 研究機関等
  - ・早稲田大学情報生産システム  
研究センター
  - ・福岡県リサイクル総合研究センター
  - ・九州工業大学  
ヒューマンライフITセンター
  - ・(独)産業技術総合研究所北九州サイト  
ほか

### II 技術・実証研究

- 実証研究支援
- 地元企業のインキュベート

#### 実証研究エリア

- 福岡大学  
資源循環・環境制御システム研究所
- 九州工業大学  
エコタウン実証研究センター
- 新日鉄エンジニアリング(株)  
北九州環境技術センター
- 福岡県リサイクル総合研究センター  
実証試験地
- 各分野での実証研究
  - ・処分場管理技術
  - ・処理困難物の適正処理技術
  - ・廃棄物の再資源化技術
- 北九州市エコタウンセンター  
ほか

### III 事業化

- リサイクル事業、環境ビジネス展開
- 中小、ベンチャー事業の支援

#### 総合環境コンビナート

- リサイクル工場の集積
  - ・ペットボトル
  - ・OA機器
  - ・自動車
  - ・家電
  - ・蛍光管
  - ・医療用具
  - ・建設廃棄物
  - ・複合中核
  - ・非鉄金属

#### 響リサイクル団地

- 地元中小・ベンチャー  
(食用油、有機溶剤、古紙、空き缶)
- 自動車解体、中古部品業者の高度化

#### 響灘東部地区

- リサイクル工場
  - ・パチンコ・廃木材・廃プラスチック・飲料容器
  - 風力発電(2)

#### その他の地区

- リサイクル・リユース工場
  - ・発泡スチロール・OA機器
  - ・フォーミング抑制剤・溶融飛灰資源化

# 北九州学術研究都 - 知の基盤・産学連携拠点 -



## - 進出大学・研究機関等 -

	【大学名】	学部名・研究科名
1	北九州市立大学	国際環境工学部 大学院国際環境工学研究科
2	九州工業大学	大学院生命体工学研究科
3	早稲田大学	大学院情報生産システム研究科
4	福岡大学	大学院工学研究科

## 【北九州学術研究都市の特徴】

- ・ 理工系の大学・研究機関、企業の研究部門を同一キャンパスに集積
- ・ 進出大学の教育・研究理念の共通化
- ・ キャンパスの一体的な運営、施設の共同利用
- ・ 研究者・教員・学生相互の交流と連携

【研究機関等の名称】 H21.11.1現在	
1	早稲田大学情報生産システム研究センター
2	福岡県リサイクル総合研究センター
3	福岡大学産学官連携センター北九州産学連携推進室
4	広島工業大学 IC設計・プロセス工学教育研究センター
5	英国クランフィールド大学北九州共同研究室
6	財団法人九州ヒューマンメディア創造センター北九州ITオーブンラボ
7	清華大学コンピューター科学技術学部北九州研究室
8	上海交通大学北九州研究室
9	九州工業大学先端エコフィッティング技術研究開発センター
10	北九州市立大学技術開発センター群(アリア研究センター等)
11	九州工業大学JAHNG研究室&健康資源マネジメント研究会
12	熊本県立大学有菌研究室
13	九州工業大学産学連携推進センター若松分室
14	独立行政法人 科学技術振興機構
15	財団法人 ファジシステム研究所

# 戦略的な企業育成や誘致による新たな成長産業の集積

- 充実した産業インフラや高度な技術・人材などの地域資源を最大限活用
    - ➡ 今後の成長が期待でき、地域産業への大きな波及効果が見込める
- 重点産業分野の企業立地を促進し、新たな産業活力を取り込む**
- 市内企業の情報収集及び事業拡張支援を行う**

## 重点産業分野



# 北九州エコタウン事業の現況

- 投資額 : 約600億円(民間:7割、国等:2割、市:1割)
- 従事者数: 約1,300人(非常勤含む)
- 視察者数: 累計約84万人(1998~2010)...年間約9万人



## 14件の実証研究中

- 恒久研究施設
  - 福岡大学資源循環・環境制御システム研究所
  - 新日鉄エンジニアリング(株)北九州環境技術センター
  - 九州工業大学エコタウン実証研究センター など
- 各分野での実証研究
  - ・最終処分場技術に関する実証研究
  - ・食品ゴミのバイオマスプラスチック実証研究
  - ・汚染土壌浄化技術実証研究 など

## 25件の事業施設が稼動

- リサイクル事業
  - ペットボトル、OA機器、自動車(2)、家電、蛍光管
  - 医療用具、建設混合廃棄物、発泡スチロール、
  - 食用油、有機溶剤、古紙、空き缶、非鉄金属
  - パチンコ台、飲料容器、再生デッキ、製紙(古紙)、溶融飛灰
- リユース事業    パソコン
- その他            複合中核、風力発電(2)

## 北九州エコタウン事業の概要



### 実証研究エリア

企業、行政、大学の連携により、最先端の廃棄物処理技術やリサイクル技術を実証的に研究する機関を集積し、環境関連技術開発拠点を目指す。

### 総合環境コンビナート

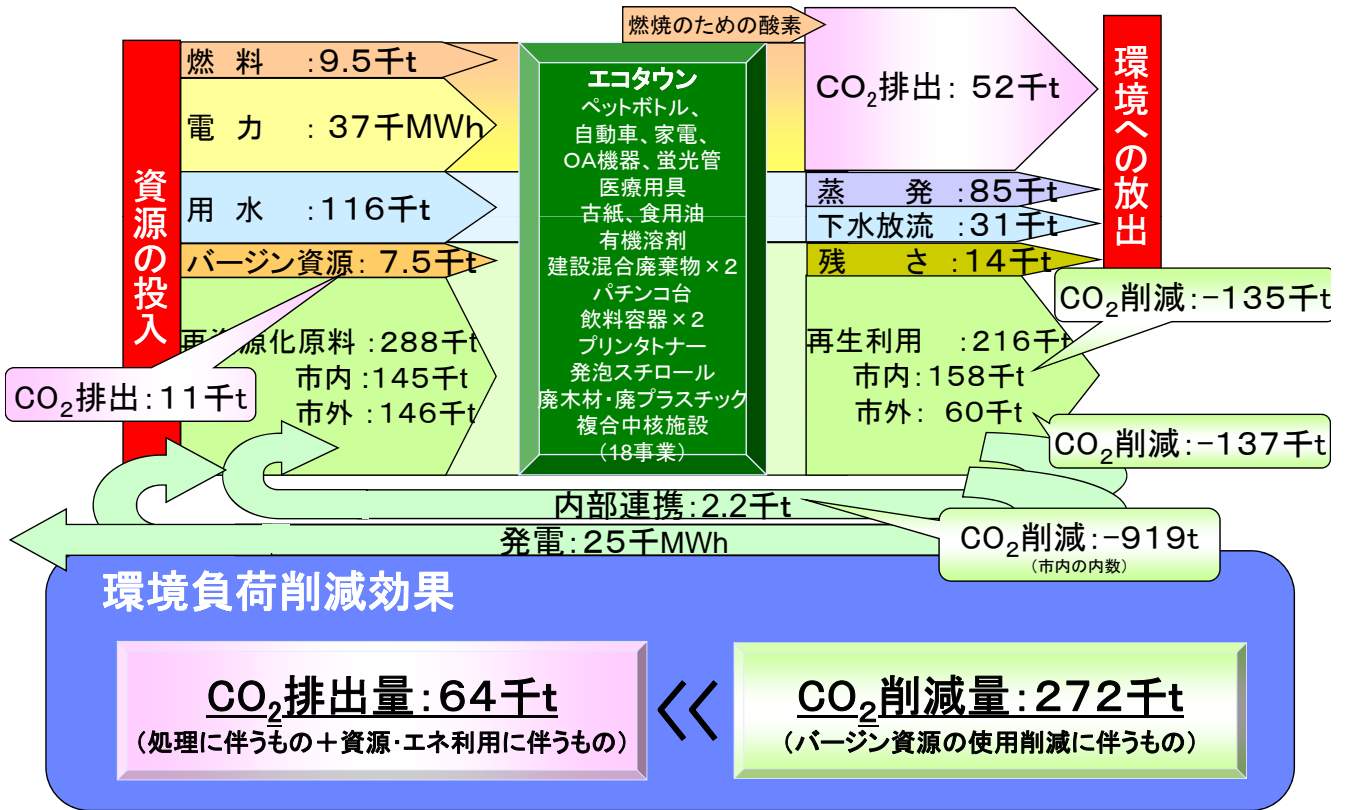
環境産業の事業化を展開するエリア。各事業が相互に連携することでゼロ・エミッション型の環境産業コンビナート化を図ることにより、資源循環拠点を目指す。

### 響リサイクル団地

市が土地を整備し、事業者に長期間賃貸することで、中小企業の環境分野への進出を支援する。

# 北九州エコタウンの環境負荷削減効果

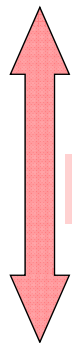
～ライフサイクルアセスメント(LCA)による推計～



## エコタウンの課題と今後の展望

### 課題・社会の要請

- ◆各種リサイクル法に対応した各種事業は既に出揃う
- ◆社会情勢の変化等により既存事業も競争激化
- ◆温暖化対策、新エネルギー政策



今後の展望

- ①高付加価値化、競争力強化  
→希少金属・資源等  
既存事業の高度化
- ②新エネルギー  
→次世代エネルギーパーク  
バイオマスエネルギー
- ③処理困難物  
→汚染土壌の浄化など

④国際協力  
→エコタウン  
ノウハウの移転等

⑤人材育成、VI

強み

- ◆素材を中心とした「ものづくり」の強み
- ◆エコタウン地域の中でも最大のリサイクル産業の集積
- ◆エコタウン先進地としての経験・苦勞、海外からも注目
- ◆環境産業に対する市民の理解

環境技術  
イノベーション

# エコタウン企業認定基準の見直し

～環境で経済を拓くには～

- ◆ 循環型社会、低炭素社会の構築に寄与する
- ◆ 環境負荷の低減に寄与する
- ◆ 新規性・独自性・自律性を有する
- ◆ 環境関連法令を確実に遵守する
- ◆ 操業時の安全性が確保されている
- ◆ 資源調達・製品販路を含む事業内容の公開
- ◆ 操業後、施設を公開する
- ◆ ISOまたはEA21の取得



## 北九州エコプレミアム産業創造事業

### 概要

市内の産業・技術分野の取り組みや成果の中から「エコプレミアム」を選定し、「エコプレミアム」の拡大、浸透を図る取り組みを行うことにより、市内産業界全体の環境配慮活動を促進する。

**エコプレミアム：「環境負荷が低い」という付加価値を持った商品や技術、産業活動**

### 取組状況

- ・H16年度「エコプロダクツ推進事業」として事業開始
- ・H17年度からエコサービスも加え「エコプレミアム産業創造事業」へ
- ・これまでの選定数(21年度までの累計)  
エコプロダクツ:127件、エコサービス:28件(合計155件)

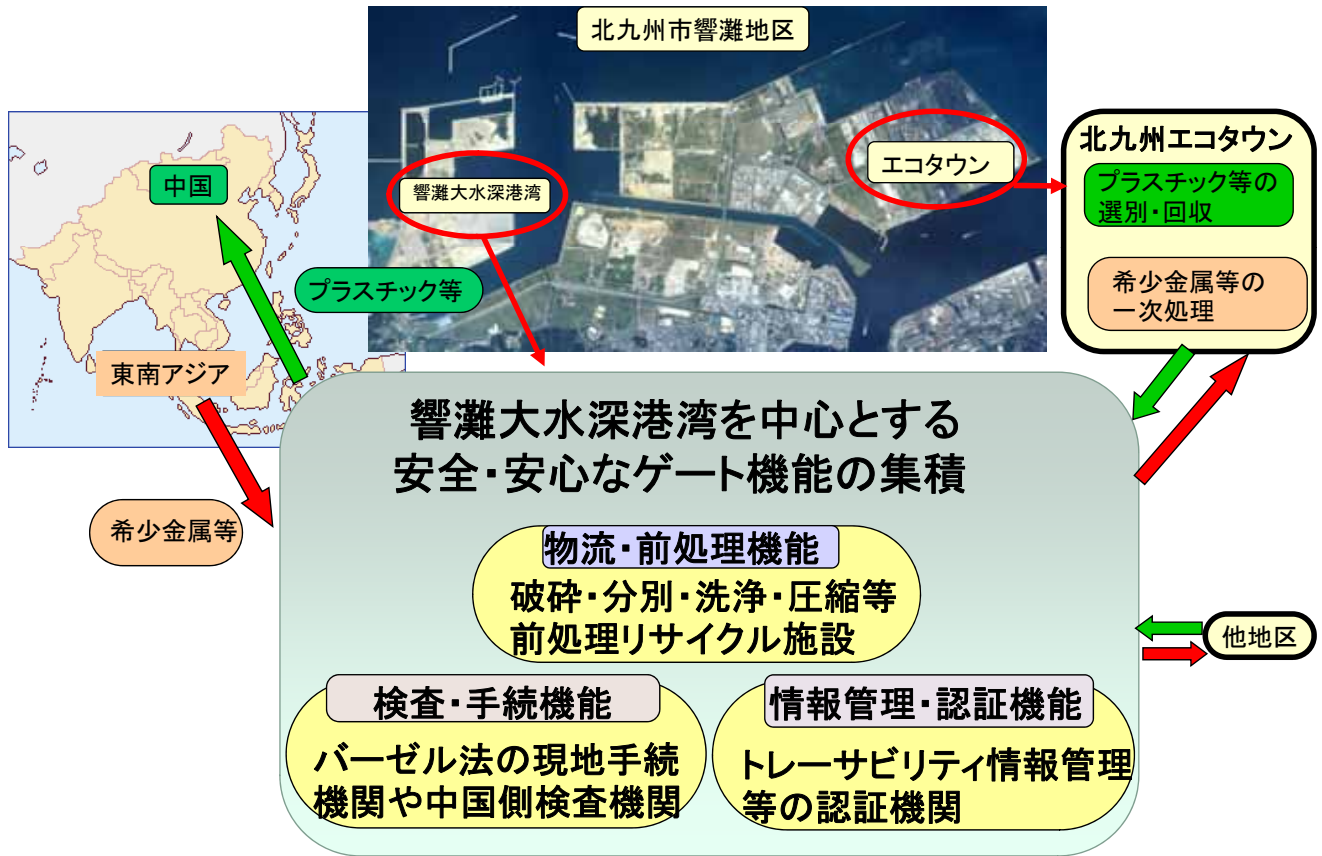


### 今後の展望

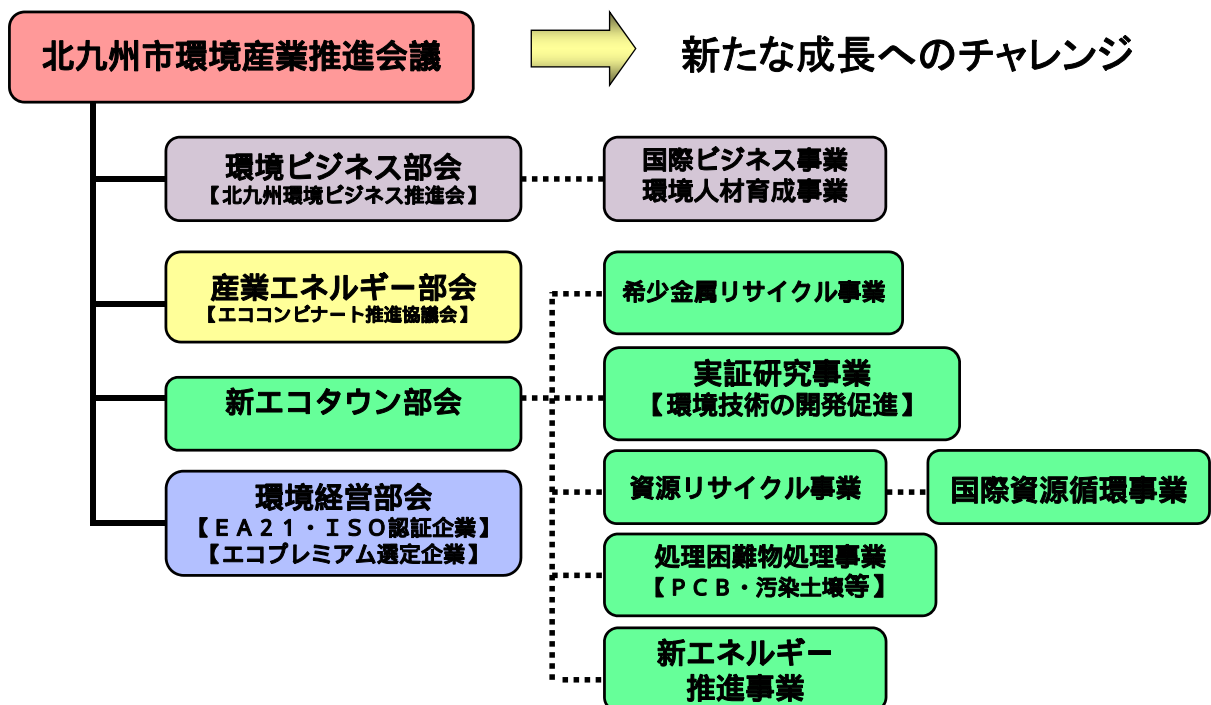
- ・選定されたエコプレミアムのうち、「新規性・独自性」と「市場性」において特に優れているものを「いち押しエコプレミアム」として21年度に5件を選定。全国レベルの環境ブランド製品・サービスとして重点的にPR。



# 北九州市が目指す国際資源循環拠点のイメージ

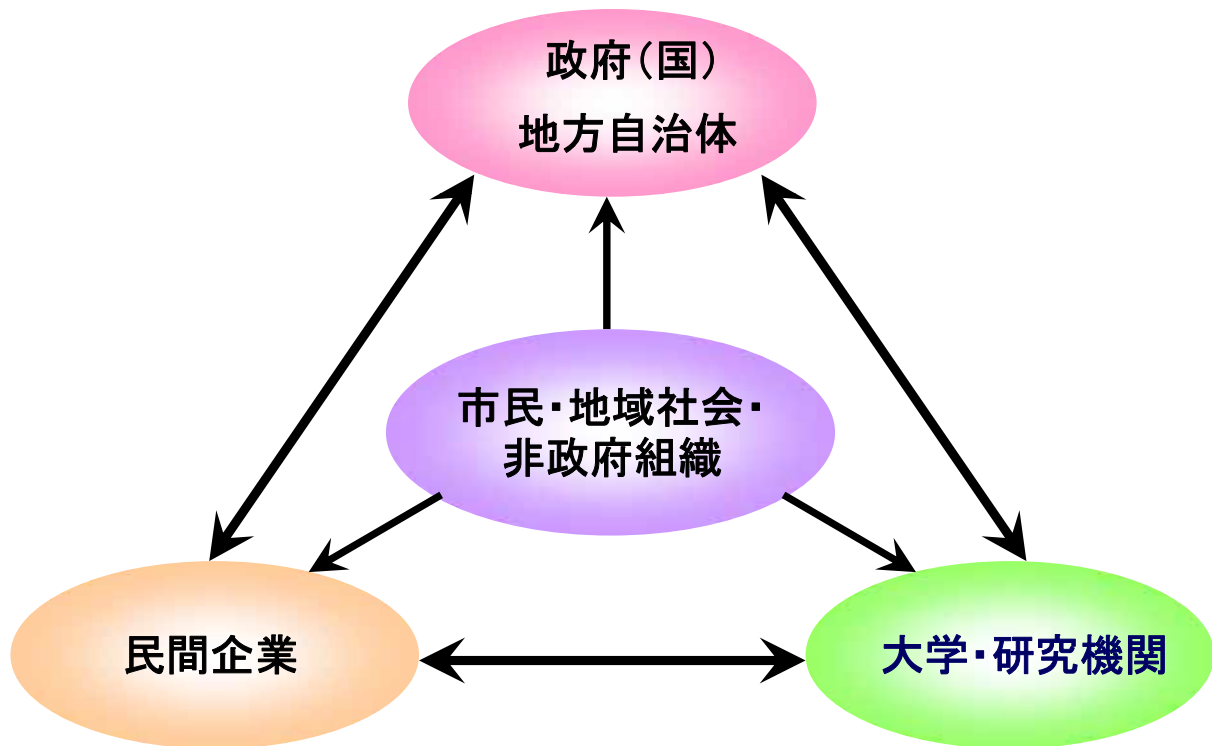


## 新たな環境産業ネットワークの形成 (多様な環境技術の組み合わせ)



# 企業環境管理のための北九州方式

(利害関係者のパートナーシップによるイニシアティブ)



◆ ご清聴ありがとうございました！